

第 20 回医療系 e ラーニング全国交流会年次大会 開催報告

2025 年 10 月 11 日から 13 日の 3 日間、北海道大学医学部百年記念館にて、「第 20 回医療系 e ラーニング全国交流会年次大会 (JMeL20)」を開催させていただきました。

JMeL は、医学教育における e ラーニングをテーマに、その取り組みや実績を技術的・教育的な観点から議論し、担当者間の交流を目的とする会で、年に 1 回、全国各地で年次大会が開催されております。

今回は、当センターをはじめ、北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ、医学教育・国際交流推進センター、北海道大学病院 臨床研修センター、北海道大学教育推進機構 オープンエデュケーションセンターという、北海道大学における医学教育関連の全ての部局が主催し、「先端技術が拓く医療系デジタル教育の深化と挑戦」をテーマに、全国から 102 名の参加者を迎えました。講演、シンポジウム、ワークショップ、研究発表を通じ、医療教育におけるデジタル活用の最前線について活発な議論が行われました。

基調講演では、レノボ・ジャパン合同会社の岩本義智氏より、医療領域への VR 教育導入における実装ポイント、安全性、コスト、運用上の課題、そして具体的な導入プロセスについてご紹介いただきました。

教育講演では、北海道大学情報基盤センターの重田勝介先生より、国内外の高等教育デジタル化の進展を踏まえ、シミュレーション教材、生成 AI、OER を活用した学習支援の今後の展望についてご講演いただきました。

第 20 回記念のシンポジウムでは、「これからの医療系 e ラーニングの発展に向けて」をテーマに、これまで大会長を務められた 6 名の先生方より、JMeL の歩みや大会開催にまつわる貴重な経験談をご披露いただきました。

一般演題は 22 題で、AI を活用した個別最適化学習や学習支援、VR/AR による臨床シミュレーション・医療安全教育、学習環境のデジタル高度化など、多岐にわたる革新的な研究発表が行われました。各セッションでは質疑応答も盛んに行われ、参加者間の意見交換を通じて多くの知見が共有されました。

また、プレコンgresワークショップおよびポストコンgresワークショップでは、医学教育に AI（人工知能）をどのように導入していくかについて、実際に AI を活用した教育プログラムやコンテンツ制作を通して学びました。

第20回という記念すべき大会の開催するにあたり、ご指導いただきました JMeL 会長 東京科学大学 木下淳博教授をはじめ、JMeL 世話人・会員の皆様に心より御礼申し上げます。

また、当センターとともに主催していただきました、北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ、医学教育・国際交流推進センター、北海道大学病院 臨床研修センター、北海道大学大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンターの皆様にも深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

本大会で得られた成果が、今後の医療系デジタル教育のさらなる発展に寄与することを期待いたします。



〔 会場風景(第20回記念特別シンポジウム) 〕
JMeL20 回記念シンポジウム的一幕。これまでの活動を振り返り、今後の発展に向けて多様な視点から議論が交わされました。



〔 会場風景(第20回記念ポストコンgresワークショップ) 〕
医学教育モデル・コア・カリキュラムの IT 関連項目を起点に授業設計を考えるワークショップ。グループごとに議論が深まり、様々なアイデアが共有されました。

JMeL 年次大会ですが、次回は福岡県福岡市の令和健康科学大学での開催を予定しております。開催情報などにつきましては、下記 HP よりご確認ください。

【医療系 e ラーニング全国交流会 (JMeL) HP】

<https://www.jmel.jp/>